

(様式2)

令和 4 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590100051
法人名	社会福祉法人うぐいす福祉会
事業所名	グループホームおおやちの家
所在地	新潟市江南区うぐいす2丁目7番5号
自己評価作成日	令和4年11月9日
評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detai_i_2017_022_kani=true&JizyosyoCd=1590100051-008&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和4年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームおおやちの家は平成18年に設立し、今年で16年目となりました。フロアは広く、木の温もりにも包まれ、入った瞬間明るい光を感じることができます。
ご利用者様お一人おひとりのもつ力が発揮できるよう、手を出し過ぎず、共に笑い、思いに寄り添い、互いに助け合いながら暮らしていただきたいという気持ちで、支援しております。
また、安らかに人生の最期を迎えられるように、看取りの介護もさせていただいております。
季節行事として、屋内屋台とひよっこ踊りの夏祭り、吹上花火の花火大会、対抗戦の健康祭り、冬の忘年会など職員が企画するアイデアは、年々知恵と工夫が施され、盛大に開催しております。また、B級グルメやいも煮会などのお楽しみランチ会も行ったり、水原・鳥屋野潟公園・白山神社など、ちょっとしたドライブにも気軽に出かけています。
地域との繋がりに関しては、天気の良い日は散歩に出かけ声を掛け合う関係性も深まっており、タオルや古生地・花の苗など、使って下さいと寄付して下さる地域の方も増えております。
職員の年齢層も幅広く、趣味や特技を支援に活かしています。年度初めには各自の目標シートを作成し、年に2回の個人面談で目標を振り返り、意見や要望を聞いています。
認知症ケアの専門研修など年に1度は全職員が外部での研修に参加してきましたが、今年度は感染症予防対策により、オンラインでの参加や内部での研修が主体となっております。
今後もコロナ禍の状況が続きそうですが、衛生面には充分気を付け、利用者様の暮らしを守っていきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○事業所理念を具現化する取り組み
理事長による事業所理念の研修を年度初めに行い、事業所が目指すケアの方向性の意識づけをしている。毎月、理念を踏まえた具体的なケアをユニット目標として作成し、目指すケアの具現化に務めている。さらに職員はチームの中で自分の役割を果せるよう個人目標を作成してサービスに取り組み、管理者との振りかえりを定期的に行っている。これらの取り組みにより職員は日々のケアが事業所の目指す方向性に沿っているかを振り返り、意識することになり、ユニット会議、カンファレンスなど、日頃のケアの中において話し合われ意見あう日常となっている。出された意見は職員間で周知できるよう、連絡・報告・確認の体制も整えられている。事業所職員としてどのようにケアを行うかという一人ひとりの持つ意識は「強いチーム力」となっている。利用者が持てる力を発揮し、地域の中で安心して暮らせる日常を作り上げる支援に繋がっている。

○利用者の生活を豊かにする環境整備
事業所はフロアがとてもしっかりと明るい空間であり、利用者が過ごしやすいように椅子やテーブルの配置が考えられている。利用者の目に入りやすい場所に大きく行事の日程が掲示されていたり、行事の写真も定期的に張替えを行いながら飾られており、利用者に楽しんでもらいたいという職員の思いが伝わる創意工夫がなされている。利用者の居室内も本人に合ったベッドの位置やテレビ、ソファの配置など、一つ一つが利用者個々の生活スタイルに合わせており、安心して暮らせる環境となっている。普段の支援に向けても利用者のことを一番に考え、日常的に利用者についてミニカンファレンスなどが職員間で行われており、心をこめて検討した内容をケアプランに反映している。
今まで築き上げた地域や家族との絆も強く、コロナ禍で行事は一緒に行えていないが散歩の時に会えば挨拶を交わし、施設に地域の人が花を植えに来たりと現在も密に関係性は継続されており、地域住民や家族、利用者の声に耳を傾け親身に寄り添うことができている。